

【報告事項】

令和3年度事業計画及び収支予算について

【基本方針】

(1) 産学連携

東北大学とのビジネスマッチングについては、中期的な産学連携を期待する大学と個別の取り引きを期待する企業サイドとの間にギャップがあり、結論が見いだせない状況となっています。

産学連携については双方とも重要と認識していることから、継続して検討を続けたいと思います。

(2) 人材確保

コロナ感染の収束を待ち、技能五輪大会の招致に向け宮城県に働きかけるとともに、ものづくり以外の団体にも協力を求めています。

またプロフェッショナル人材戦略拠点事業を通して、必要な人材の紹介を進めるとともに、兼業・副業についても取り組むと考えています。

(3) 財政基盤

プロフェッショナル人材戦略拠点事業などの受託事業により、昨年度は黒字を確保することができました。しかしながら今年度は、ものづくり企業コーディネーター設置事業がなくなるほか、コロナ禍における会員減少の傾向もみられます。

そのため今年度は安全に十分注意をしたうえでのイベント開催や工業会のホームページを活用して会員同士が交流できる仕組みなども導入し、活性化に役立てたいと考えます。

【委員会活動】

(1) 政策委員会

東北大学工学研究科とのビジネスマッチングについて協議を継続し、大学と企業双方にとってメリットのある仕組みを見つけ出したいと考えます。

技能五輪の県内開催については、ものづくり以外の団体に協力を呼びかけるとともに、県に対する働きかけも継続していきます。

(2) 総務委員会

定時総会に上程する案件について事前確認をおこない、適切な内容になるよう修正していきます。

またみやぎ工業会の事業運営を効率的に行えるよう、規定類の見直しをおこなっていきます。

(3) 交流推進委員会

コロナの感染防止を最優先にしたうえで、ゴルフ大会等の会員交流イベントを開催したいと思います。

新春産学官交流大会は、みやぎ産業振興機構および東北大学と連携し、商談会と展示会の同時開催ができるよう取り組みたいと思います。

(4) 技術交流委員会

政策委員会とともに、東北大学とのビジネスマッチングについて継続して検討します。

また企業見学会については、コロナ感染の状況を念頭に置いたうえで実施に向けて検討したいと思います。

(5) 情報委員会

年2回発行の機関紙には講演会や活動イベントの記事を掲載しますが、会員企業の紹介や経営者の趣味など肩の凝らない記事についても掲載していきたいと思います。

(6) 経営基盤委員会

オンラインによる MIA 倶楽部を継続的に開催したいと考えています。また生産性の向上など、共通する課題についても取り組んでいきたいと思います。

【受託事業】

(1) みやぎ優れ MONO 発信事業

14 回目となるみやぎ優れ MONO 認定品候補の発掘に取り組むとともに、認定に向けて企業を支援していきます。

また既にみやぎ優れ MONO に認定された企業に対して、認定製品の販路拡大に向けた各種支援を行ってまいります。

(2) プロフェッショナル人材戦略拠点事業

これまでのプロフェッショナル人材紹介事業の他に、新たに地域金融機関が主体となる「先導的人材マッチング事業」に取り組みます。

またリソースが限られる地方の人材不足の解決法として期待される副業・兼業人材活用の支援についても取り組んでまいります。